

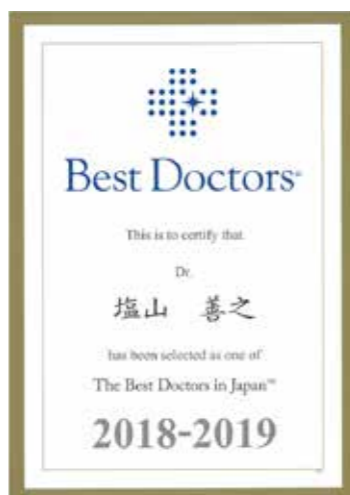
topic

塩山センター長が2期連続 ベストドクターズに



塩山 善之

しおやま・よしゆき / 医学博士。九州国際重粒子線がん治療センター副センター長を経て、2016年4月から同センター長。九州大学医学部を卒業後、同大学の放射線科に入局。高精度放射線治療、粒子線治療などでがん治療に携わってきた。前九州大学大学院医学研究院・重粒子線がん治療学講座教授。



塩山善之センター長が、ベストドクターズ社から医師同士の評価によって選ばれる“The Best Doctors in Japan 2018-2019”に選出されました。2期連続の受賞です。

ベストドクターズ社の名医選出方法は、医師に対して「もし、自分や大切な人が、自分の専門分野の病気にかかった場合、自分以外の誰に治療を委ねるか」という観点から、他の医師についての評価を伺うことで進められ、最終的に調査結果から一定以上の評価を得た医師を名医 (Best Doctor) に認定するというものです。

スタッフ紹介



看護師
大鶴 晶子



診療放射線技師
垣内 玄雄



診療放射線技師
大野 昌也



診療放射線技師
富山 友希

●寄附をお願いします●

佐賀国際重粒子線がん治療財団では、引き続き皆さんからの寄附を募集しています。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマツトへのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、当財団へご寄附をいただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として、税制上の優遇措置があります。詳しくは、当財団までお問い合わせください。

サガハイマツト通信 vol.22

(平成30年10月号)

【お問い合わせ】

発行 ■ 公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団 (担当)本村

所在地 ■ 〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町3049番地

TEL ■ 0942(81)1897 FAX ■ 0942(81)1905

H P ■ <http://www.saga-himat.jp/>

サガハイマツト通信

vol.22

(平成30年10月号)

治療患者数、まもなく3,000人



- CONTENTS ● 末藤大明 診療部長 インタビュー
● データで見るサガハイマツト
● 塩山センター長 ベストドクターズ受賞
● 【スタッフ紹介】看護師・診療放射線技師のみなさん



SAGA Heavy Ion Medical Accelerator in Tosu
サガハイマツトは、九州国際重粒子線がん治療センターの愛称です

サガハイマツトの受診に関する相談窓口

電話 0942-50-8812
(受付時間:平日の9時~12時、13時~17時)
メール saga-himat@saga-himat.jp

末藤大明
診療部長
インタビュー



【略歴】
すえふじ・ひろあき／福岡県大牟田市生まれ。医学博士、放射線治療専門医、がん治療認定医。佐賀医科大学(現佐賀大学医学部)一久留米大学院修了。2013年4月サガハイマツト開設時から勤務。今年4月から現職。

九州国際重粒子線がん治療センター(愛称:サガハイマツト)

頭頸部腫瘍、前立腺がんへの重粒子線治療が公的医療保険適用に

今年4月から頭頸部腫瘍と前立腺がんの一部への重粒子線治療が公的医療保険の適用になりました。頭頸部腫瘍は従来の放射線治療などでは治療が難しいものもあり、そうした際に重粒子線治療は効果が期待できる治療法とされています。末藤大明診療部長に、重粒子線治療の特徴などについて聞きました。

けることができるようになりました。希少がんなので、ももとの患者数自体は少ないものの、実際に保険適用となった4月以降は、約2倍の患者数に増加しています。重粒子線治療が、より多くの人に、より身近な医療として捉えていただけるようになったと実感しています。

▼頭頸部腫瘍に対する重粒子線治療の内容や特徴を教えてください。

頭頸部腫瘍の9割ほどは扁平上皮がん、手術、放射線治療、抗がん剤などを組み合わせて治療でき、大学病院などで根治を目指した集学的治療が行われています。一方、重粒子線治療は、従来の方法では根治が難しい扁平上皮がん以外の頭頸部腫瘍に対しても有効だと言えます。治療回数は、全国の重粒子線治療施設で統一されており、16回の照射となります。各施設が同じ治療を行うことで「こうしたら治療効果が高い」というエビデンス(科学的根拠)もさらに高まっていけばいいと思います。

特徴としては、放射線治療と比べると、重粒子線治療は抗腫瘍(がんを殺す)効果が高いと思います。従来の放射線治療で根治が難しかった症例でも、これまでに4年、5年と生存している患者さんもいます。手術は根治性が高いというメリットがありますが、がん細胞を取り除くために顔の形に影響が生じる場合もあります。その点、重粒子線は切らずに治療することが

できることが特徴だと言えます。

しかし、副作用が全くないとは言えないので、サガハイマツトでは重粒子線を照射する範囲を調整し、できるだけ副作用が少なくなるよう工夫しています。がんの場所によってさまざまな副作用がありますが、できるだけ日常生活に支障がないよう最大限努力しています。

重粒子線治療の良さ もっと多くの人に

▼実際に治療にあたられて「重粒子線治療ならではの」といった事例を教えてください。

例えば、舌の奥に腫瘍ができ、息ができないため気管切開をしてサガハイマツトを受診されるケースがあります。手術となれば、舌と喉頭を切除することになり、声と味覚も失ってしまう可能性がありましたが、治療計画を作る際に何度も検討を行い、重粒子線で治療することができ、職場復帰され、日常生活を取り戻すことができています。

このように外見や機能をできる限り損なわず、QOL(生活の質)を高く保つことができるのが重粒子線治療の良さだと思います。頭頸部腫瘍が発症する部位は五感が集中していて、とても気を使います。私はおいしいものを食べることが大好きなので、味覚は可能な限り守ってあげたいと、治療にあたっています。

▼今後の重粒子線治療やサガハイマツトの展望についてお聞かせください。

現在、サガハイマツトでは、3室体制で治療にあたっています。細い重粒子線をいったん拡大して、がん病巣の形にぴったりと合わせて照射するパッシブ

患者の経済的負担軽減 身近な医療に

▼公的医療保険の適用となった頭頸部腫瘍とはどのようながんですか。

一般的には耳鼻科の領域で、首から上で脳より下までの範囲にできる腫瘍を指します。耳鼻科というと耳、鼻、口、咽頭、喉頭などたくさんの器官があり、こうした場所にできるがんを頭頸部腫瘍と呼びます。

今回、公的医療保険の適用となったものは、口腔、咽頭、喉頭の扁平上皮がんを除いたものです。分かりやすく言うと、目や鼻の奥、唾液を出す組織の耳下腺など、従来の放射線治療などでは治療が難しいがんなどが対象となっています。

▼患者さんにはどのようなメリットがありますか。

これまでは先進医療であったため、治療費の全額が自己負担でした。そのため、民間の保険で先進医療特約に入っていれば治療を選択しやすいと言えました。しかし、今回の保険適用を受け、経済的負担が大幅に軽減されたことは、患者さんにとって大きな朗報だと思います。

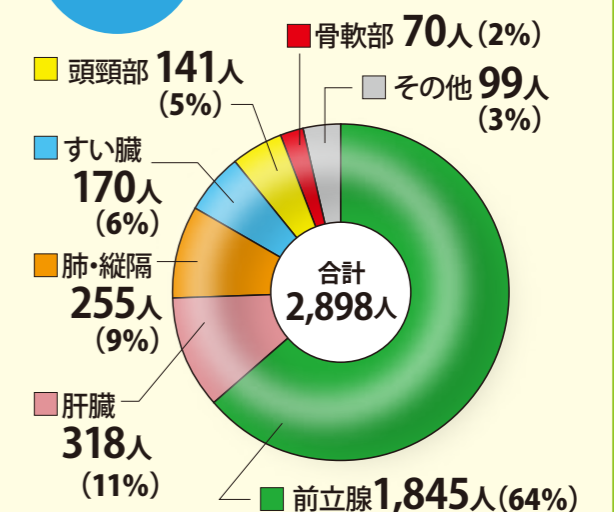
重粒子線治療の先進医療での治療費は314万円でしたが、公的医療保険の高額療養費制度を利用すると、平均的な年収の方の場合、10万円前後で治療を受

データで見るサガハイマツト

(2018年8月末日現在)

部位別 患者数

※その他は、直腸(骨盤内再発)、
食道、腎臓、婦人科など



照射と、がん病巣を一筆書きで正確に塗りつぶすように照射するスキニング照射の両方ができるのは、現在のところ、世界でもサガハイマツトだけですので、患者さんにとってより最適な照射法を選択し、質の高い治療を提供していきたいと考えています。

患者さんも増えてきていますが、あまりお待たせしないように心がけています。治療希望の電話をいただいてから1カ月以内で診療できるように努力しており、みなさんの期待に応えられるよう医師をはじめ、スタッフ一丸となって対応しています。

また、治療が終わってからのフォローにも気を配り、患者さんを紹介していただいた医療機関と連携しながら、患者さんに優しい医療施設を目指しています。多くの人に重粒子線治療の良さなどを理解してもらえよう、これからも一つ一つ実績を積み重ねていきます。